

子どもたちからの「えっ！」

202406

指導者の「なんで!？」

マッチングゲームで、自分の持っている半分の絵と合う、もう一つの絵の半分を合わせようと、欲しいカードの番号を、小学校 1 年生の弟が“(I want) twoteen.” と言うと、4 年生のお兄ちゃんが 12 のカードをめくっていた。また、“Twenty.” と言うと、またまたお兄ちゃんはちゃんと 12 のカードをめくっていた。流石、以心伝心!? 「なんで？」

カードの番号は 1 から 19 までしかありませんでした。two と言っていないし、カード番号に 20 はないから、twelve のことだと判断するなんて、すごい推測力です!!